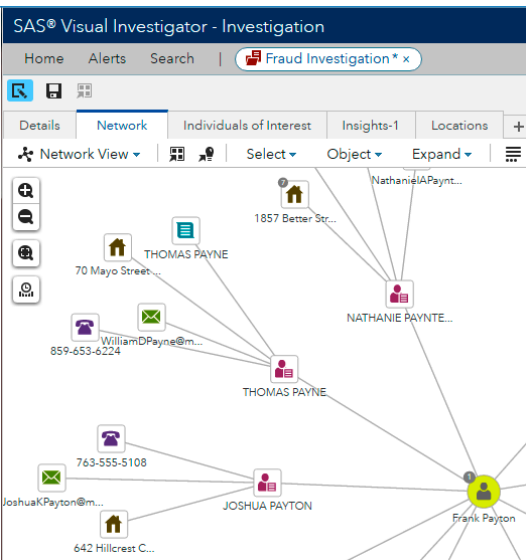


# SAS® Visual Investigator

迅速かつ効果的なインテリジェンス分析、調査業務を実現



SASの高度なアナリティクスと機械学習のパワーをフル活用できるこのソリューションは、調査担当者に対し、対話操作型のインターフェイスを通じ、ビジュアルを駆使して方向性の定まった調査を実施できる業務環境を提供します。このセルフサービス型のアプローチは組織全体に展開できるため、幅広いユーザーがデータのインポート、ポイント&クリック操作による探索的分析、サードパーティのシステムへのアクセスといった作業を自律的に行えるようになります。

合理化された導入オプションとIT管理機能により、ユーザー層の変化に応じてソリューションを進化させることも可能です。市場条件や組織の変化に適応させる場合も、ニーズや目的に合わせたソリューションの設定調整をビジネスプロセス・オーナー（業務担当部署）レベルで行うことができ、コストのかさむカスタマイズ作業は不要です。

標準装備の機能には、テキストや地理空間の検索と分析、データ・ビジュアライゼーション（視覚化）、対話操作型のネットワーク構築、エンティティ生成、トランザクション分析などが含まれます。こうした機能の全てを駆使することで、さらなる調査を要する領域のプロアクティブ（能動的）な特定、異常な活動や疑わしい活動のリアルタイム検知と対応措置、規制遵守や内部監査要件への対応などを効率的に行うことができます。

## 主な機能

SAS Visual Investigatorは、大量かつ多様な構造化データソースと非構造化データソースを組み合わせて活用できる、クラウド対応の調査およびインシデント管理ソリューションです。アラートの定義／作成／トリージ（選別）／管理や、詳細な調査の実施を総合的に管理・実行することができ、個人や組織のニーズに合わせたカスタマイズも容易です。

## ビジネスメリット

複雑化が進み続けるなか、分析担当者や調査担当者は、膨大なアラートや広大なネットワークから重要な意味を見出せるように業務効率を飛躍的に高める必要に迫られています。SAS Visual Investigatorを活用すると、企業や組織は、隠れた行動や活動をあぶり出した上で、詳細な調査を効率よく実施し、結果を組織全体で共有し、チームの連携を最適化することができます。

## 対象ユーザー

SAS Visual Investigatorは、詐欺行為やマネーロンダリングの検知に取り組む銀行や金融機関、テロや犯罪活動の発見に取り組む国家安全保障機関や法執行機関、調査や情報収集に取り組む法律事務所、疾病の大流行の予防に取り組む医療機関や保健機関などを対象として開発されました。

全てのデータについて容易なアクセス性、適切な統制、最新性が維持されるため、分析担当者と調査担当者は、人物、関係、ネットワーク、パターン、イベント、傾向、変則性を総合的に把握し、企業や組織の競争優位性を促進することができます。

## 利点

### ● 個々のユーザーの要件に合わせて（高額なカスタマイズ作業なしで）設定を調整できるソリューション・プラットフォーム：

ハブ&スポーク型トポロジーを採用したデータ重視型のオープンなアプローチによって各機能の設定の柔軟性が確保されており、新たなトレンドやビジネス課題への対応、新しいデータソースの追加が容易に行えます。必要に応じてソリューションの活用範囲をビジネス全体に広げることも可能です。

### ● ユーザーの業務遂行力を強化し、業務効率を向上：

このソリューションではデータ管理、トリージ、ワークフローの大部分が自動化されるため、業務遂行が効率化し、分析担当者の意思決定が迅速化します。単一ソリューションの使いやすいインターフェイスを通じて、データのインポート、高度な検索の実行、時間や地理空間に関する方法論の適用、ビジネス課題や検索結果の調査などを実行できます。

### ● データをそのままの場所で活用：

データモデル、ETL（抽出／変換／ロード）、オンサイト・エンジニア、場当たりのカスタマイズなどに追加コストが必要となる従来のアプローチと異なり、SASのアプローチではサイズ、構造、フォーマットに関係なく、今ある場所のままでデータを活用します。独自の課題に取り組む場合でも、ソリューションの設定を調整するだけで、大勢の分析担当者が組織全体のデータを積極的に分析し、詳細な調査結果を踏まえて意思決定できる業務環境を構築することができます。

### ● クラウド導入展開オプションと設定の柔軟性により、総所有コストを最小限に抑えることが可能：

必要に応じてどこでも分析処理を実行できるアーキテクチャを採用しているため、組織のニーズに合った導入展開モデルを用いて重要な機能を提供できます。

### ● アナリティクスに基づく深い洞察がシンプルな形で提示されるため、理解が容易：

分析担当者は、例えば「p値」と「t検定」の違いを知っている必要はありません。SASのソリューションではイベントの発生理由やアラートの生成理由が理解しやすい形で示されるため、アナリティクスの活用を無理なく組織全体に広げることができます。

## 概要

SAS Visual Investigatorは、検知や特定から調査、統制まで、調査／検索／照会業務のライフサイクル全体を管理・実行できる使いやすいソリューションです。関心対象のイベントや疑わしい活動に関する情報収集、分析、特定、意思決定などを支援する幅広い機能を提供します。SAS Visual Investigatorは生産性と効率性を最初から念頭に置いて設計されており、以下の特長を備えています。

- **アラート管理とイベント管理**：分析担当者や調査担当者は、アラートやイベントの調査および整理、より踏み込んだ調査ケースの開始、関心対象のイベントが発生した場合の積極的な回付または意思決定などを支援する機能を活用して、情報の遅延を実質的に解消することができます。
- **効率的なアラート管理とワークフロー**：マネージャーや業務領域のエキスパートは、分析担当者の活動への優先順位の設定、生産性と有効性のモニタリング、新たに発生したパターンに対する監視戦略の適用などを行うことができます。
- **ビジネスニーズの変化に適応できる俊敏性**：運用管理者は、ドラッグ&ドロップで

対話操作できるページビルダを使って新しいインテリジェンス資産を速やかに設計・導入できます。カスタム・インターフェイスの開発は不要です。

- **対象を絞り込んだ調査を支援**：ワークスペースや検索用ビジュアライゼーション(例：マップ、タイムライン、グリッド、ネットワーク)の表示のほか、分析担当者が文書化したメモや画像なども取り込むことができる使いやすいインターフェイスとして、Insights機能を搭載しています。分析担当者は、動的に構成できるワークスペースを利用して関連データを収集し、対話操作型の視覚化コンポーネントを駆使して調査を進めることができます。

## 機能

### 検索と発見

組織内外のソースから収集したデータ全体を対象として、テキストや地理空間を検索することができます。様々な方法で検索結果をフィルタリングおよび視覚化することで、エンティティ、解決済みエンティティ、関係について関連情報を調査・発見することができます。また、「結果を調査ワークスペースに追加して詳細な分析に

回す」といったアクションを開始することも可能です。

以下の機能が用意されています。

- **フリーテキスト検索**：調査に関連するデータを強力な検索機能で発見することができます。
- **検索フィルタ／ファセット**：対話操作型のフィルタとファセットを用いて、検索結果を絞り込むことができます。
- **フォーム検索**：特定のエンティティ・タイプについてフィールドベースの検索を実行します。例えば、個人の氏名やナンバープレートの番号から特定の車両を見つけることができます。
- **クエリビルダ**：プログラミング構文を知らなくても、直感的なインターフェイスを用いて複雑なクエリを作成することが可能。例えば、ファジー(曖昧)検索、近接検索、フィールド・ブーストを使用することや、検索範囲を特定のエンティティ・タイプ、フィールド、コメント、または洞察に制限することが可能です。
- **インスペクタ**：詳細を対話操作でプレビューしながら、検索結果を絞り込むことができます。
- **選択ツール**：詳細な調査のために、複数のオブジェクトを強調表示して照合することができます。

### 監視

直感的なユーザー・インターフェイスを用いて、アナリスト・レビュー向けのアラート管理キューの中で、アラート生成用のシナリオを作成することができます。熟練したSASユーザーはルールの作成も可能です。

- ルールビルダー、デシジョンテーブル、またはSASコードを用いて、シナリオを作成
- 定義済みのシナリオに対し、役割別のパラメーター調整のための制限を付加
- シナリオやスコアカードのテストを実行
- シナリオ(群)に基づきスコアを作成
- バッチ方式またはオンデマンドで実行

### アラートとイベントの管理

SASが提供する総合的な意思決定管理機能では、高度な分析モデル、ビジネスルール、シナリオを展開するための機能や、サードパーティのシステムとの統合(相互通信)を実現する機能を通じて、関心対象のイベントを発見し、適切なアラートを発行することができます。

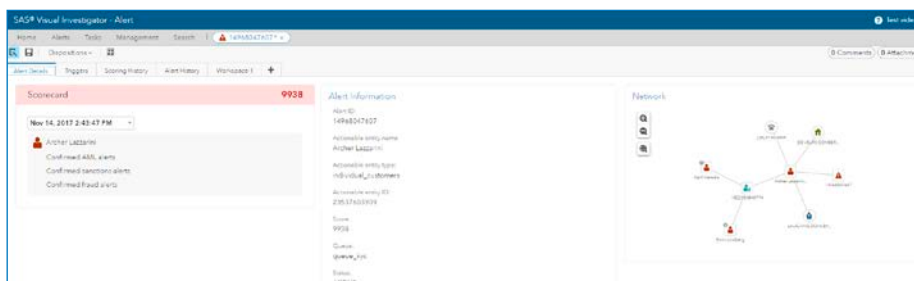


図1：分析担当者は、特定のアラートを発生させたルールの詳細や、アラートの総合スコアを表示することができます。関連のネットワークを探索したり、アラートのトリアージやアクションの実行に役立つ他の情報を表示したりすることも可能です。

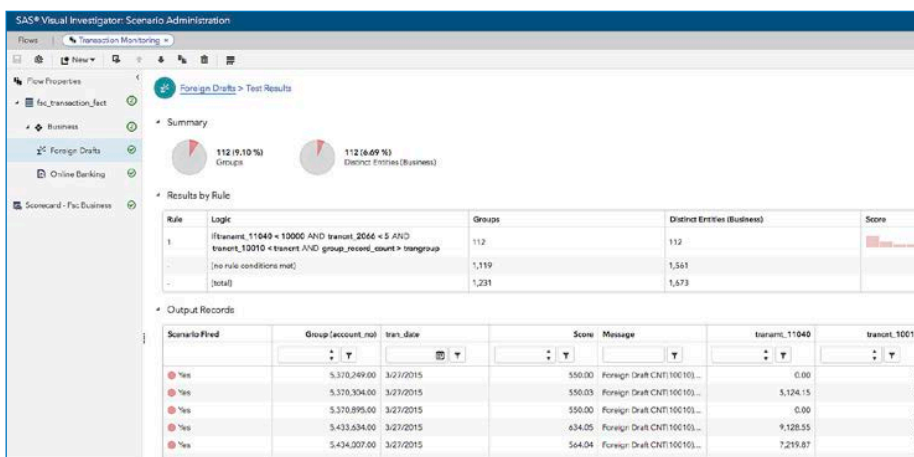


図2：分析担当者は、データに潜む疑わしいイベントや異常を検知し、アラートを生成するための監視シナリオを作成・編集およびテストすることができます。

## 主な特長

アラートとイベントを管理する機能では以下のことが行えます。

- アラートの優先順位設定と割り当て
- 様々なビューでアラートを視覚化してコンテキストを把握
- エンティティの追加やデータの統合・連結によって、アラートを強化
- 回付経路の設定または優先順位の変更によって、アラートのエスカレーションを実行
- 検知結果の自動処理オプションを設定
- 検知結果の処理アクティビティに関する管理者向け概要を提供
- 詳細な調査を促すアラートを指定

### SAS® Mobile Investigator

SAS Mobile Investigatorは、外出中でもSAS Visual Investigatorにアクセスするためのアプリであり、ユーザーにとっての柔軟性を拡張します。ユーザーは幅広いモバイルデバイスから、データの検索、タスクの受信と処理、新しいコンテンツの作成、調査の管理などを行うことができます。全ての機能は、デバイス自体のサービスの追加機能（GPSによる地図上での位置検出など）を用いてSAS Visual Investigatorと連携します。

運用管理者は、SAS Visual Investigatorの運用管理ツールでアプリを管理および設定することで、リモートワーカーにモバイルアクセスを許可できます。

### エンティティ・アナリティクス

SASが提供する対話操作型のエンティティ解決機能は他社とは一線を画しており、複雑な関係を極めて正確に把握するために役立ちます。SASのエンティティ・アナリティクス機能は、エンティティの接近性 (closeness)、媒介性 (betweenness)、影響度 (influence) に基づいて関心対象となりうる領域を強調表示することで、分析や調査の方向性的見極めを支援します。人物、場所、事物、イベントの間に存在する関係の複雑なネットワークを時系列に沿って表示、あるいは複数の次元を横断して表示する機能により、分析担当者は、明白ではない関係の特定、複雑な関係の追跡と照会、パターンやコミュニティの発掘を対話操作で行うことができます。

### 検索と発見

- フリーテキスト検索
- フォーム検索とクエリビルダ
- フィルターとファセット
- 地理空間の検索・探索・視覚化
- テキスト・アナリティクスと分析結果のビジュアライゼーション(視覚化)

### アラートとイベントの管理

- ガバナンス、監査、コンプライアンス
- 優先順位付きのキューイング・モデル
- エンリッチメント
- シナリオ発動型のイベントモデル(シナリオ・コンテキストを含む)
- 検知結果の処理オプションと管理者向けの概要
- アラートからのケース作成

### エンティティ・アナリティクス

- エンティティ・レゾリューション
- ネットワーク・アナリティクスと視覚化
- ネットワーク・リンクの展開
- ネットワーク・ノードのデコレーター機能とエンリッチメント機能

### トランザクション分析

- トランザクション・ネットワークの視覚化

### 対象を絞り込んだ調査

- 対話操作型の調査ワークスペース
- 知見を記録するための Insights 機能
- Insights 機能の表示内容の印刷
- データ・ビジュアライゼーション(グリッド、マップ、タイムライン、ネットワーク、詳細ビュー)

### ケース・マネジメント

- ワークフロー
- ファイル添付機能
- カスケード方式のグリッド・レイアウト機能を備えた役割別のホームページ
- 構造化された印刷

### 監視エンジン

- ルールビルダー、デシジョンテーブル、またはSASコードを用いて、シナリオをオーサリング
- 定義済みのシナリオに対し、役割別のパラメーター調整のための制限を付加
- シナリオのテストを実行
- シナリオ(群)に基づきスコアを作成
- バッチ方式またはオンデマンドで実行

### 運用管理と設定の柔軟性

- オープンなデータモデル
- 新しいデータソースを容易に追加
- ドラッグ&ドロップ操作型インターフェイスを用いて、ページやホームページをデザイン
- リンクや関係性(ユーザーが作成できるリンクのタイプ)の定義
- アプリケーション設定のインポート/エクスポート
- 組織内外のソースを対象にしたデータのインポート、または参照クエリ
- 検索設定
- エンティティ・レベルのセキュリティ・モデルの定義
- マップおよびタイムライン用のイベントモデル
- リンク・トラバースル
- ユーザー・パーミッション
- バックエンド・プロセス、ワークフロー、タスクのモニタリング
- ユーザーの行動および活動の詳細な監査

### SAS® Mobile Investigator

- モバイルデバイスからのリモートアクセス
- デバイス自体の位置情報サービスとマッピング機能を活用
- データ検索
- ワークフロー・タスクの受信とそれに基づく行動
- 新しいコンテンツの作成
- モバイル・プロパティ、ページ・テンプレート、コンテキスト、デザインモードの管理

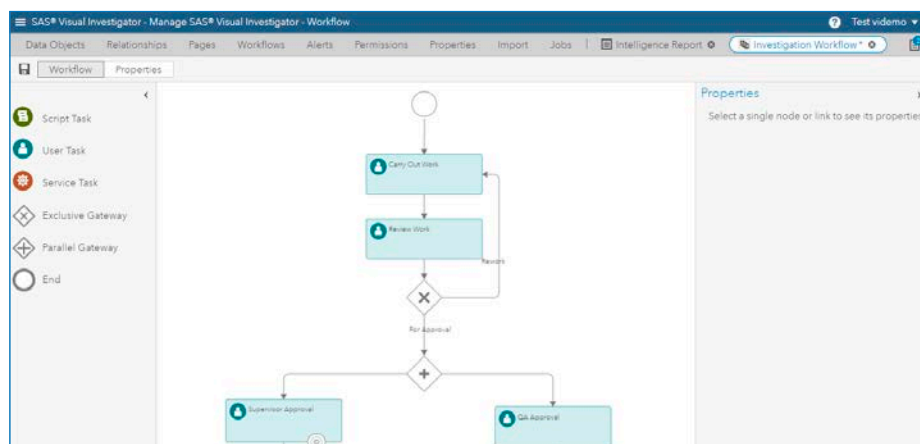


図3: 運用管理者は、定義済みのタスクについて、日々の業務遂行時にユーザーをガイドするためのワークフローを設計することができます。



ネットワーク・ビューアの対話操作では、ネットワークの全体像を把握できます。必要に応じてネットワークを展開またはトリミングしたり、コミュニティや人物の関係を探索したり、ネットワーク・レイアウトを操作することも可能です。最後に、得られた洞察のスナップショットやクリップを作成し、他の調査担当者とのコラボレーションや知見の文書化に役立てることもできます。

以下の機能が用意されています。

- **ネットワーク・ビューア/ノードリンク・ダイアグラム (NLD)**: ネットワークの視覚化、ネットワーク・レイアウトの操作、対話操作による探索、コミュニティの作成、明白ではない関係の特定を行うことができます。
- **リンク・エクスパンション**: 多階層の展開を通じて、ネットワークと関係を完全に視覚化します。
- **ネットワーク・アナリティクス**: エンティティの接近性、媒介性、影響度などに基づき、関心対象領域やネットワーク中心性を特定することができます。
- **ノード・デコレーター**: アイコンで有益な情報を強調することにより、分析担当者や調査担当者によるネットワーク・データの理解を支援します (例: 顧客が保有する口座を銀行別のアイコンで差別化)。ひと目でエンティティを特定できるようになるため、データの理解が深まります。

## 調査ワークスペース

調査ワークスペースは、分析担当者のコラボレーション、コンプライアンス、効率向上を促進します。対話操作型のビジュアライゼーションと検索機能は、調査や研究に関連するデータの構築、収集、探索、視覚化、操作を確実に効率よく行うために役立ちます。セルフサービス型の機能でビジュアライゼーションの静的なクリップを Insights 機能に追加して、マップ、タイムライン、ネットワーク、その他のコンテンツの説明に利用することが可能です。Insights 機能の表示内容を印刷することも可能です。

## 製品機能の設定の柔軟性

企業や組織は、このソリューションの柔軟性を最大限に活用し、様々なビジネスニーズやトレンドの進化に対応することができます。SAS Visual Investigator はオープンなデータモデルを採用しており、また、データの表示や作業に使用するインターフェイス、コンポーネント、画面のデザインなど、運用管理上の設定を単純明快に行えるメカニズムが組み込まれています。

運用管理者は以下の機能にアクセスできます。

- 異なるビジネス要件やビジネス状況、その進化に柔軟に対応できるオープンなデータモデル
- 動的に構成可能なページデザイナーおよびビューア
- 合理化された軽量のワークフローを用いてアラートやイベントを設定・管理できる機能
- ソリューションの開発・保守・展開を容易にする、設定のインポート/エクスポート機能

また、運用管理者はデータのアドホックな (非定型の) インポート、分析、インデックス作成、視覚化などの作業を、セルフサービス方式の機能で実行できます。

さらに詳しい情報は »

SAS Visual Investigator の詳細、ホワイトペーパーのダウンロード、スクリーンショットの確認、関連資料の閲覧については、[sas.com/jp/go/vi](https://sas.com/jp/go/vi) をご覧ください。

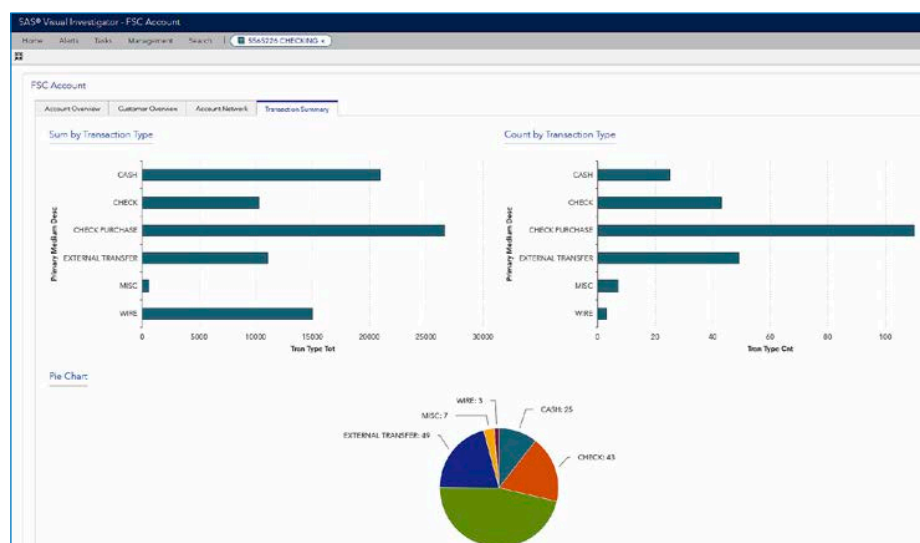


図4: 分析担当者と調査担当者は、特定のデータの表示と作業に最適な形に設定されたページビュー内で、オブジェクトや関連情報を表示することができます。

SAS Institute Japan 株式会社 [www.sas.com/jp](http://www.sas.com/jp)

[jpnsasinfo@sas.com](mailto:jpnsasinfo@sas.com)

本社 〒106-6111 東京都港区六本木6-10-1 六本木ヒルズ森タワー 11F  
大阪支店 〒530-0004 大阪市北区堂島浜1-4-16 アクア堂島西館 12F

Tel: 03 6434 3000 Fax: 03 6434 3001  
Tel: 06 6345 5700 Fax: 06 6345 5655

